

四万十町議会 定例会 町長行政報告

令和7年度 四万十町一般会計決算見込み

令和7年度の一般会計決算見込額は、歳入総額184億5,583万円、歳出総額179億9,649万円、歳入歳出差引額は4億5,934万円となり、このうち翌年度へ繰り越すべき財源3億2,286万円を差し引いた実質収支額は、1億3,648万円となっています。

現在、決算調整及び分析等を行っています。歳入の前年度比較では、令和6年度に実施した松葉川地区基幹集落センター整備事業の減などにより普通建設事業費が減少した一方、災害復旧費の増加などから、歳入全体で1億9,874万円・1.1%の増加となっています。

歳入では、普通建設事業に伴う地方債が減少となり、一方で、県支出金や町税がそれぞれ増加となるなど、歳入全体で3億7,567万円・2.1%の増加となっています。

また、ふるさと支援寄附金は、前年度より1億4,276万円減少の8億478万円となり、それに伴い返礼品等の事業であるふるさと支援推進事業費は7,145万円の減少となっています。

町の預金にあたる積立基金残高は、今後の各種事業等に必要財源として、ふるさと支援基金で8億747万円、その他で4億3,783万円、合わせて12億4,530万円を積み立て、一方でふるさと支援基金で10億円、財政調整基金で1億円、その他で6億5,661万円、合わせて17億5,661万円を取り崩した結果、5億1,131万円減少しています。

また、町の借金にあたる町債残高は、平成27年度に借入を行った臨時財政対策債の繰上償還を実施したことなどにより、前年度末から4億4,397万円余り減少しています。

地元高校の振興

本年4月の入学者数は、窪川高校39名、四万十高校26名となり、ここ数年の中では一番多い入学者数となりました。多くの新入生が入学したことにより、校内も一層明るい雰囲気、活気が出てきており、学校生活にも良い影響が出ています。

それぞれの高校においては、継続的に入学者を確保するよう今年度も取り組みを進めており、四万十高校では、魅力化の3大プロジェクトとして、自

然環境コースなどの特長を活かして二ホンミツバチの飼育に取り組み、養蜂を通じて、地域の自然環境についての学びを深めるほか、昨年度初めて参加した石積み甲子園での成果を受け、今後も継続して石積みの技術を習得し、石積み甲子園への参加を目指しながら、昔ながらの技術の継承と農地などの保全の学習に活かすようにしています。また、企業と連携したふるさと納税の返礼品開発も昨年度に引き続き行っています。



四万十高校石積み練習中

窪川高校では、友好協定を結んでいる韓国の高校との交流事業として7月と10月にそれぞれの生徒が相互訪問するよう計画しています。また、地域みらい留学にも参入し、県外生の募集に着手しました。

新聞やテレビ等でも報道されている野球部については、地域の皆さまを

はじめ、各種団体やふるさと納税を通じて県内外からも多大なご支援を賜りました。この場をお借りして、深く感謝申し上げます。

4月の臨時生徒総会にて正式に部活動として承認され、5月には高知県高校野球連盟への再加盟が承認されました。現在は、日本高校野球連盟の正式決定を待っている状況ではありますが、全国選手権高知大会にも出場できる見込みになっています。

現在野球部は、他校との練習試合を行いながら、地域の方の応援を受け、一生懸命活動に取り組んでいます。

野球部の活動が、学校全体の活気づくりにも好影響を与え、ひいては四万十町の魅力化につながるよう願っています。

今後も両校での取り組みを継続しながら、入学を希望する生徒の確保に努力を重ねていきたいと考えています。



窪川高校野球部

国保十和診療所の医師確保の状況

国保十和診療所については、令和8年3月末に和田医師が退職となり常勤医師が不在となっています。

新たに導入した電子カルテの引継等もあり、4月の1か月は同医師に非常勤で勤務していただきましたが、5月以降は月曜日と火曜日が休診となり、水曜日は細木病院系列の支援、木曜日は上田医師の支援、金曜日は高知医療センターの石井医師及び高知国立病院の支援という診療体制となっています。

現在も、町ホームページや県の求人サイト、医師会の冊子への求人情報掲載を行い、公立病院や民間病院への医師支援依頼を行っておりますが、地域医療の医師不足は全国的な課題でもあり難航しています。

住民の皆さまにはご迷惑をおかけしますが、引き続き医師確保に努めていますので、ご理解のほどよろしくお願いします。

台風6号への対応と被害状況

6月2日から3日未明にかけて本町に接近した、台風6号への対応経過と被害状況を報告します。

まず、対応経過ですが、6月1日16時に災害対策本部準備会を開催し、海岸部水門の閉門や排水ポンプ車の

設置など、事前の警戒態勢を敷きました。

翌2日13時51分、暴風・波浪警報の発表に伴い配備体制へ移行し、第2回準備会を16時に開催し対応を協議しました。その後、雨足が急速に強まり、18時8分にレベル3相当の「大雨警報」が発表、19時20分の大井野河川水位の氾濫注意水位（6メートル）超過を受け、20時に第3回準備会を開催し、警戒を強化しました。

20時19分に、レベル4相当の「大雨危険警報」への切り替えを受け、20時30分に「災害対策本部」を設置し、浸水危険が高まった窪川地域に対し「高齢者等避難」を発令し、避難所を開設しました。

その後も水位が上昇し、21時に氾濫危険水位（8.2メートル）を超えたため、窪川地域に「避難指示」を発令し、速やかな避難を呼びかけました。避難所である農村環境改善センターには、最大17名が避難しました。

その後、気象状況は徐々に回復し、22時33分に大雨警報がレベル3相当に引き下げられ、状況を慎重に見極めた結果、翌3日1時30分をもって避難指示を解除し、災害対策本部を解散、配備体制へと移行しました。

町内の被害状況は、床下浸水が4件確認されたほか、一部の地区では土砂崩れ等により道路が寸断され一時的に孤立状態が発生しましたが、翌日には通行止めを解除しています。

また、6月9日現在の農業関係の被害状況ですが、農作物被害は55件・11ha、施設被害は71件・10haが確認されています。国庫補助の対象となる災害復旧事業では、公共土木

災害関係で河川11件、道路7件、農地農業用施設災害では農地3件、農業施設2件が確認されており、引き続き調査を進めているところです。

今回の台風対応において活動いただいた消防団、関係機関の皆さま、そして冷静に行動いただいた町民の皆さまに心より感謝申し上げます。

今後は、被災された方々への支援と被災箇所の迅速な復旧に全力で取り組みとともに、今回の教訓を活かし、さらなる防災・減災体制の強化に努めてまいります。

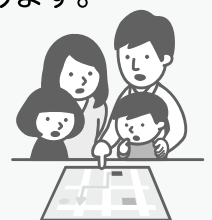
町民の皆さまには、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。



早めの避難を!



想定以上の大雨に突然みまわれる場合もあります。台風や大雨による警報は要チェック!



防災気象情報 HP ▶

防災気象情報

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル 1	早期注意情報			